

製品名: EF-Tu ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10329**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	50kDa

抗原情報

遺伝子名	TUFM
別名	TUFM; Elongation factor Tu; mitochondrial; EF-Tu; P43
遺伝子 ID	7284.0
SwissProt ID	P49411
免疫原	抗血清はヒト TUFM 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 301-350

背景

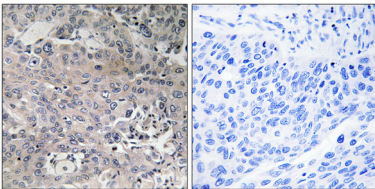
この遺伝子は、ミトコンドリアにおけるタンパク質翻訳に関与するタンパク質をコードしています。この遺伝子の変異は、複合型酸化リニン酸化欠損症 (COXPD4) と関連しており、乳酸アシドーシスおよび致死性脳症を引き起こします。偽遺伝子が 17 番染色体上に

同定されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、疾患: TUFM の欠陥は、複合型酸化リン酸化欠損症 4 型 (COXPD4) の原因です [MIM:610678]。COXPD4 は、新生児乳酸アシドーシス、急速進行性脳症、ミトコンドリアタンパク質合成の重篤な低下、および mtDNA 関連ミトコンドリア呼吸鎖複合体の複合欠損を特徴とする。機能: このタンパク質は、タンパク質合成中に、GTP 依存性 アミノアシル tRNA のリボソーム A 部位への結合を促進する。類似性: GTP 結合伸長因子ファミリーに属する。EF-Tu/EF-1A サブファミリー。、

研究分野

-

画像データ



TUFM 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。